

ほうれんそう



主な掲載内容(令和6年6月定例会)

定例会の概要……………2	一般質問……………6	アロハ議会……………12
委員会審査……………4	全国市議会議長会表彰者……………11	表紙写真……………12
討論・賛否の状況・意見書・提言書……………5	議会報告会・意見交換会……………12	編集後記……………12

ほうれんそう／ほうこく・れんらく・そудんの意味と、ほうれんそうから連想する「パワー」から活力ある議会活動をイメージしています。

令和6年6月定例会

いわき市国民健康保険税条例等の改正など 31議案等を可決・承認・同意

定例会の概要

令和6年6月定例会は、6月6日から20日までの15日間の日程で行われました。本会議初日に、市長から、条例改正案9件及び補正予算案3件など、計24件の議案が提出され、主な提出議案について説明が行われるとともに、市政を取り巻く諸問題について報告がありました。

また、最終日には、市長から、人事案5件が追加提出されたほか、議員から、意見書案2件が提出されました。これらの議案等について慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決、承認・同意されました。

条例改正

◆いわき市国民健康保険税条例等の改正

「地方税法施行令の一部を改正する政令」の施行（令和6年4月1日）等に伴い、所要の改正を行うものです。

【施行日】 公布の日

改正内容

1 いわき市国民健康保険税条例の改正 (1) 賦課限度額の改正

区分	現行	改正
基礎課税額	65万円	65万円
後期高齢者支援金等課税額	22万円	24万円
介護納付金課税額	17万円	17万円
合計	104万円	106万円

(2) 軽減基準の改正

区分	現行	改正
7割軽減	基礎控除額(43万円) + (給与所得者等の数-1) × 10万円	基礎控除額(43万円) + (給与所得者等の数-1) × 10万円
5割軽減	基礎控除額(43万円) + (給与所得者等の数-1) × 10万円 + 29万円 × (被保険者数)	基礎控除額(43万円) + (給与所得者等の数-1) × 10万円 + 29.5万円 × (被保険者数)
2割軽減	基礎控除額(43万円) + (給与所得者等の数-1) × 10万円 + 53.5万円 × (被保険者数)	基礎控除額(43万円) + (給与所得者等の数-1) × 10万円 + 54.5万円 × (被保険者数)

2 いわき市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の改正

● 減免申請に係る特例の期間の改正

東日本大震災に伴う、帰還困難区域等及び上位所得層を除く旧避難指示区域等からの転入世帯に係る国民健康保険税の減免申請の特例について、令和5年度分までとしていた対象期間を、令和6年度分まで延長する。

◆いわき市遠野オートキャンプ場条例の改正

いわき市遠野オートキャンプ場について、民間事業者等のノウハウを生かした効率的な施設運営等を図る観点から、利用料金制度を導入するため、所要の改正を行うものです。

【主な改正内容】

1 利用料金制度の導入

- (1) 施設の使用者は、指定管理者に対して利用料金を支払い、指定管理者は、利用料金を自らの収入として収受できる旨の規定に改める。
- (2) 利用料金は別表に定める額を限度として、市長の承認を受けて、指定管理者が定める旨の規定を加える。

2 利用料金上限額等の改正

(別表参照)

【施行日】 令和7年4月1日

◆別表

区分	現行	改正
利用者	大人1人	440円 上限660円
	小人1人	220円 上限330円
施設	オートキャンプ場1区画/宿泊伴う	4,400円 上限6,600円
	オートキャンプ場1区画/宿泊伴わない	2,200円 上限2,200円
	キャンプ場 1区画/宿泊伴う	2,200円 上限4,400円
	キャンプ場 1区画/宿泊伴わない	1,100円 上限1,100円
設備	シャワー(※)	100円 上限100円

※ その他の設備利用料金等は指定管理者による自主事業とするため、別表から削除



遠野
オートキャンプ場

委員会 審査

本会議5日目の6月13日に、計24議案の付託を受けた4常任委員会は、6月14日に委員会を開催し、議案審査を行いました。

その結果、いずれも原案のとおり可決、承認すべきものとの結論に達しました。審査の過程では、様々な質疑応答等がありましたので、その一部を掲載します。

Check!

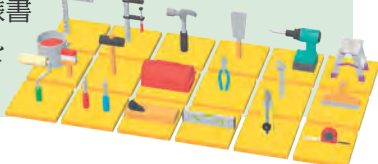
政策 総務

常任委員会

◆ 令和6年度いわき市一般会計補正予算（第2号）

Q 包括施設管理業務委託が導入された場合、小規模修繕契約希望者登録制度の取扱いはどのようになるか。

A 再委託という形になるが、現在とほぼ変わらず行えるよう、包括施設管理業務を行う事業者を選定する際の仕様書等に盛り込むことを検討しています。



◆ 財産取得 (水槽付CD-I型消防ポンプ自動車)

Q 入札における公平性及び競争性の確保は。

A 入札については、本市財務規則に規定する契約のルールに則り、実施しています。

市民 生活

常任委員会

◆ いわき市いわき震災伝承みらい館条例の改正

Q 指定管理者制度を導入する意図は。

A 震災の記憶を後世に残す施設であり、資料の収集・整理及びその活用にあたり、ノウハウのある事業者が携わることで、機能の充実を図るためです。



◆ いわき市国民健康保険税条例等の改正

Q これまでの軽減基準引上げの推移は。

A 平成29年度が据置き、平成30年度から令和2年度までが引上げ、令和3年度が据置き、令和4年度から本年度までが引上げです。

教育 福祉

常任委員会

◆ 令和6年度いわき市一般会計補正予算（第2号）

Q 生成AIは、生徒の人間形成が十分になされ、文章読解力が備わった上で導入すべきと考えるが、次世代の教育情報化推進事業費について、指定校となるいわき市立内郷第一中学校での生成AIの活用にあたり、慎重な検証を行ったか。

A AI技術が進展している現状に鑑み、まず知ることが重要と考え、同校において、本事業をパイロット的に実施するものです。

本事業は、AIが生成したものを教材に使用し、AIの性質や限界等を気づかせたり、生徒が作成した文章を推薦させたりする活用方法を想定していますが、生徒の直接使用は想定しておらず、教師が教材を準備する際等に、AIを用いた業務改善を図る趣旨も含まれます。

産業 建設

常任委員会

◆ いわき市遠野オートキャンプ場条例の改正

Q 利用料金の改正によるさらなるサービスの向上について、具体的な内容は。

A 24時間オンライン予約の導入、キャッシュレス決済の導入、ペット同伴、Wi-Fi整備など、利用者のニーズに合ったサービスが、サウンディング調査事業者より提案されています。

◆ 令和6年度いわき市一般会計補正予算（第2号）

Q 都市公園整備事業について、都市公園の遊具の更新に係る優先順位の決め方は。

A 公園施設長寿命化計画に基づき、定期的な点検を実施する中で、遊具の健全度を4段階で評価し、更新順位を決めています。

討論

討論とは？

表決に先立ち行う、議案等に対する賛成か反対かの自己の意見の表明

本会議最終日の6月20日には、市長から提出された議案に対し、反対及び賛成の立場から討論を行いましたので、その主なものを掲載します。

※ 本議案は、賛成多数により可決しました。

議案に対する賛否の状況

本会議最終日の6月20日には、今期定例会に提案された議案に対する採決を行いました。採決にあたり、賛否の分かれた5議案について、会派ごとの賛否の状況を掲載します。

※ 下表中の()は、会派の所属議員数です(議長は採決に加わりません)。創世会は、欠席議員1名が採決に加わっていません。

議案名	議決結果	一誠会 (9人)		志帥会 (8人)		創世会 (7人)		公明党 (4人)		つつじの会 (2人)		共産党市議団 (2人)		自民党改革の会 (1人)		正論の会 (1人)		市民の会 (1人)	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
		いわき市国民健康保険条例の改正について	原案可決	9		7		6	4		2		2	1		1		1	
いわき市国民健康保険税条例等の改正について	原案可決	9		7		6	4		2		2	1		1		1		1	
令和6年度いわき市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	9		7		6	4		2		2	1		1		1		1	
令和6年度いわき市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	9		7		6	4		2		2	1		1		1		1	
令和6年度いわき市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	9		7		6	4		2		2	1		1		1		1	

いわき市国民健康保険税条例等の改正



軽減基準の改正において、5割・2割軽減の適用範囲が若干拡大されることは、賛成である。

一方、賦課限度額の改正において、後期高齢者支援金等課税額が現行の22万円から24万円に引き上げられ、国民健康保険税の合計が106万円と、後期高齢者医療制度開始当初から36万円も増額となることは、今後も天井知らずに引き上げられる懸念が生じ、反対である。

高齢化等により医療費等が増加する一方、被保険者の所得が伸びない状況において、負担上限を引き上げずに保険税率を引き上げ、必要な保険税収入を確保するとなれば、高所得層の負担は変わらない中、中間所得層の負担が重くなる。

よって、中間所得層の負担上昇をできる限り抑制する観点から、賦課限度額を引き上げたものであり、賛成である。



意見書

市議会では、市だけでは対応することが困難な問題の解決を求めため、国会または関係行政庁に対し、意見書を提出しています。今期定例会では、次の2件を可決しました。

災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書
聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書

詳細はこちら→



NEWS

市長への提言書の提出

— 政策提案検討委員会 —

令和6年4月30日(火)、議長、副議長並びに政策提案検討委員会委員長及び同委員会副委員長が、「再生可能エネルギー発電施設の適正な導入及び管理に関する提言書」を市長に提出しました。

提言書はこちら→



◀市長へ提言書を提出する様子

15名の議員が4日間にわたって論戦を展開

そこが知りたい

一般質問



一般質問は、6月10日から13日までの4日間にわたって行われ、15名の議員が質問を行いました。その中から主なものを掲載します。

■QRコードを読み込むと、質問議員の録画映像にリンクします。



未来へつなぐまちづくりに向けた取組は

問 本市の目指す都市将来像は。

答 人口減少時代を迎え、連鎖的に生じる様々な問題に向き合わなければならぬ大きな変化の中にあっても、いかに生まれてきてくれた子供たちが、自分らしく生き生きと夢を持って活躍できる魅力あふれるいわきを、人づくりで実現します。

問 持続可能ないわき市を指していくための今後の取組は。

答 市民の皆様といわきへの想いを共有しながら、「人づくり日本一」の実現に向け、政策の柱に、「次世代を育てる、命・暮らしを守る、まちの魅力を高める、豊かさを創る」の4つを掲げ、各分野における様々な取組に挑戦していきます。

具体的には、公共交通対策や生活インフラが不足している中山間地域における小さな拠点の形成など、人口減少社会に対応した新たな社会システムの構築を検討します。また、「暮らしやすさ」に視点を置きつつ、これからの時代に必要となる機能・サービスの受け皿としての施設の在り方を考えます。さらに、政策を支える構造改革にも引き続き取り組み、限りある行政資源の再配分や投資を意識した政策の立案・実

行に取り組みます。

これらの取組を進めることにより、将来にわたり持続可能なまちづくりを実現したいと考えています。

スタジアム・アリーナ改革推進事業との関わりは

問 当該事業に対する今後の市の関わりは。

答 今年度は、スタジアムに求める4つのビジョンを基に、スタジアム建設に向けた具体的な議論がなされます。市としては、(株)いわきスポーツクラブが民設民営を宣言したことに伴う用地取得に係る調整や資金獲得等での連携・協力を進め、引き続き、スタジアム整備への関わりの在り方について、検討を進めます。

「スタジアム・アリーナ改革推進事業」

昨年度、(株)いわきスポーツクラブがスポーツ庁の委託を受け実施した事業であり、新スタジアム検討委員会を設立し、スタジアムに求める4つのビジョンを取りまとめた。



「4つのビジョン」

①まちの構造を変えるスタジアム②常に時代の先をゆく可変的なスタジアム③教育・学びを支えるスタジアム④人が集い「偶然の出会い」が生まれるスタジアム



(仮称)動物愛護管理センターの整備に向けて

問 整備候補予定地の調査結果を踏まえると、整備候補地としてどこが適しているか。

答 整備候補予定地である総合保健福祉センター敷地、旧ポリテクセンター敷地、中部衛生センター敷地の3か所の調査結果を総合的に評価した結果、整備候補地は、旧ポリテクセンター跡地が適していると考えます。

当該地は、犬の鳴き声による周辺への影響が少なく、約8000㎡の敷地面積を有しているため、災害発生時にペット等を一時的に保護する臨時的な施設を設けることが可能です。また、市のほぼ中央部に位置し、公共交通機関による往来も可能であるため、

内郷地区の諸課題の解決に向けて

問 災害検証チームからの令和5年台風第13号災害検証年度末報告の内容は。

答 河川や排水路の堆砂の定期的な除去による外水・内水氾濫対策、車両避難場所の確保や自主防災組織の活動率向上等の避難対策など、6項目が改善すべき事項とされています。

問 新川・宮川の浸水対策について、今後、県との連携をどのようにしていくか。

答 県・市・学識経験者等で構成される「新川・宮川浸水対策検討会」を、昨年12月に設置し、関係機関が連携しながら、様々な浸水対策を検討



してきました。6月5日に行われた第4回検討会では、応急・緊急対策、氾濫防止対策、被害軽減対策の3つの浸水対策とそのスケジュールが示されました。今後も、引き続き、県をはじめとしたあらゆる関係者の皆様と連携し、効果的な浸水対策について、具体的な検討を進めていきます。



**いのちを守る
災害に強いまちづくりを**

問 矢田川の堤体工事は、鹿島町久保地内から米田

答 地内までの約1・4kmの堤体法面の一部に洗堀が生じたため、河川管理者である県は、ブルーシート等による応急対応を行いました。本年度は、鹿島町久保地内の約0・7kmの区間の法面復旧・防草シート設置工事を、次年度以降は、残る鹿島町米田地内の約0・7kmの区間の防草シート設置工事を行う予定です。

問 遠野町の面積約142haの(仮称)いわき太陽光発電事業への対応は

事業は、慎重な対応を。
答 土砂災害の未然防止に係る地盤調査や雨水排水対策等の具体的事項は、次の第3段階となる準備書に記載されます。今後示される内容を十分に確認した上、災害発生の際の未然防止対策等の追加的な対応が必要な場合には県に意見をなど、適切に対応します。



**障がい者福祉の充実に向け
担い手不足の改善を**

問 本市の移動支援等委託料の引上げは。

答 本年5月に中核市61市に照会した結果、現行継続が30市、過去3年間に引き上げたが21市、検討中が6市、今後引上げ予定が4市でした。今後は、市地域自立支援協議会において、現状を踏まえた単価設定等を調査・検討します。

**地域公共交通を守る
代替交通の確保を**

問 路線バスの運行の維持は、利用者の利便性の確保に

向け、ダイヤの改善や経路の見直しなど、効果的な運行について、交通事業者との協議を継続します。

**市民対話を通じた
小名浜地区の公共施設の再編へ**

問 複合施設化を含む検討は、本年度下半期を

答 本年度下半期を目標に、施設の在り方の検討・整理に着手し、市民対話を通じ、令和8年度頃までに一定の方向性を整理し、複合化も含む整備・改修等の検討を進めます。



**全国高等学校総合体育大会
男子サッカー競技の開催に向けて**

問 交流人口の拡大や大会に向けた機運醸成にどのように取り組むか。

答 交流人口の拡大に向けた主な取組については、一つとして、大会に出場する全52校に、本市の観光パンフレットや宿泊施設の情報等を提供し、保護者等に対する観光PRや誘客対策を実施しています。二つとして、本市の観光情報等を網羅している「いわき市観光サイト」内に特設サイトを

を作成し、本大会を契機に本市を訪れる方に役立つ情報を提供するとともに、当サイトを大会公式ホームページとリンクさせ、より多くの方に提供する発信に努めます。

また、市公式ホームページやSNSなど、様々な広報媒体を活用し、大会の情報について発信するなど、大会に向けた機運醸成に取り組めます。



**地域おこし協力隊の活動の
さらなる活性化に向けて**

問 地域おこし協力隊の課題への対応は。

答 地域と協力隊とのミスマッチの解消という課題に対しては、地域との交流を通じて、実際の活動や生活が具体的にイメージできるよう、今年度より、2泊3日で地域協力活動の体験プログラムを行う

「おためし地域おこし協力隊」や、2週間から3ヶ月までの期間で協力隊と同様の活動に従事する「地域おこし協力隊インターン」を導入します。

また、卒業後のキャリアアップ達成のサポートという課題に対しては、従来の会計年度任用職員としての任用型に加え、今年度より、隊員が意欲を保ちながら任期を満了できるように、任期中における副業や起業に向けた準備を可能とするため、身分が個人事業主となる委託型を採用しました。

■その他の質問
○いわき駅周辺のまちづくりは
○産業ひとつづくりの取組は
○災害時非常用備蓄品の充実強化は
○令和元年台風第19号による被害への対応は



**包括施設管理業務委託の
導入は**

問 包括施設管理業務とは。複数の公共施設等に係る維持管理を、市と専門性を持つ包括施設管理事業者との契

約により一括して実施するもので、維持管理の質の向上等を図ることが目的です。

部活動の地域移行に向けた取組は

問 モデル事業とは。

答 令和9年度以降の休日ににおける部活動完全地域移行に向け、課題を洗い出すものです。運営組織が既に整備され、指導者が安定して確保でき、既に合同チームで中体連に参加している種目等を選定し、指導者を現地に派遣する派遣型と合同練習会等のイベント型等により実施する予定です。

四倉地区市街地再生整備基本計画は

問 同計画の概要は。

答 「安全・安心で利便性の高い拠点機能の創出による市街地の再生」に向け、①四ツ倉駅西側の工場跡地に地区内の公共施設を集約・複合化する四倉地区交流・防災拠点施設の整備、②同施設へのアクセス性・安全性の向上を図る道路交通環境の整備、③既存商店街周辺の活性化に向けたまちなかエリアの賑わい再生、④交流・防災拠点施設の整備

により従来の役割を終える公共施設再編後の跡地の取扱いを、4つの取組として位置付けています。



▲四倉地区交流・防災拠点施設の整備予定地

問 学校再編により期待される効果は。

答 新たに整備する施設は、小中学校や図書館、公民館、放課後児童クラブ等の公共施設を集約・複合化します。これにより、中学校教師が小学校の授業に関わりを持つ機会や、隣接した図書館の様々なジャンルの図書に触れる機会が増え、子供たちの探求的な学びが深まることが期待されます。また、小中学生の交流が深まり、心身の成長等に好ましい影響を与えること、公民館がより身近な場所となり、地域コミュニティの形成に寄与することが期待されます。

持続可能なまちづくりと身近なごみ出しに向けた取組は



公明党 小野 茂

茂



問 持続可能ないわきに向け、今後の行政展開からSDGsの目標をどのように進めるか。

答 誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを目指し、安心して学べる多様な居場所づくりやヤングケアラーへの支援、気候変動への対策など、様々な主体の皆様とともに、目標達成に意を用いたまちづくりを進めていきます。

問 現行の市ごみ袋の規格は、40年以上変更がないため、現在の生活様式等を踏まえ、見直しを進めるべきでは。

答 収集運搬業者との調整等を行い、利便性向上のため、速やかな見直しを進めます。

小児がん患者等支援や児童生徒の健康スポーツ支援は

問 AYA世代は、年代により多様なニーズが存在するが、がん相談支援センターにおける相談支援の内容は。

答 当センターでは、医師・看護師等で構成するAYA世代サポートチームを設置しま

した。今後は、患者さんのライフスタイルに合った選択ができるよう支援していきます。

【AYA世代】

Adolescent&Young Adult (思春期・若年成人)に該当する15歳〜39歳のがん患者のこと。学校や仕事結婚、出産など、様々なライフイベントに直面しており、患者一人一人に寄り添った支援が必要となる。



問 児童生徒の健康スポーツ支援に向け、減免対象団体への屋内運動場照明設備使用料の全額免除を実施すべきでは。

答 当該使用料の見直しについて、検討する考えです。



創世会 狩野 光昭



最優先課題である医師・看護師等の確保は

問 医師確保の取組は。

答 市長等が、大学医学部を訪問して医師派遣を要請し、医師の増員を実現しています。
問 医師確保が進まない要因

について、市長の考えは。
答 医師確保に向け、責任を持って取り組みます。

問 いわき医療圏で2026年までに医師75名確保を目指す医師確保計画の見通しは。

答 非常に厳しい目標だと思っておりますが、粘り強く努力してまいります。

問 看護師確保の取組は。

答 高校生を対象に、看護師の仕事への理解促進のための講義を実施しています。

問 介護人材確保の取組は。

答 福祉介護人材定着支援事業を実施しています。



障がい者が住みやすいまちづくりに向けて

問 つくば市では、民間事業者等の段差解消工事費等の一部助成を実施しているが、本市でも実施すべきでは。

答 当事者の意見を十分酌み取り、調査・研究します。

問 手話言語条例の制定は。

答 聾啞者団体等と、機運醸

成に向け、取り組みます。

問 いわき市手をつなぐ育成会の「いわき市南部地区にいわき支援学校分校設立の要望書」への市長の受け止めは。

答 私自らその必要性について、県教育長へ伝えていきます。

運送業・建設業労働者の賃金引上げ・雇用改善を

問 小名浜地区労働組合協議会からのトラック労働者等の賃金引上げへの対応は。

答 県トラック協会いわき支部との意見交換会で賃金引上げの促進を働きかけました。

問 建設労働者の雇用改善は。

答 建設キャリアアップシステムの利用に向けた実施要領を制定します。

「建設キャリアアップシステム」

建設労働者の資格、現場の就業履歴等をシステムに登録・蓄積し、キャリアに応じた処遇を目的とした制度。

会計年度任用職員の賃金引上げを

問 会計年度任用職員の処遇改善は。

答 改定後の給与を4月1日から遡及適用しています。



共産党市議員
菅野 宗長

高齢化で市民総ぐるみ運動に参加できない住民への対応は

問 市民総ぐるみ運動は自主的な清掃活動であることから、取組ができなくなれば、行政として対応すべきでは。

答 対応には限界があるため、ボランティアの活用など、時代に即した新たな手法を検討します。



市民の要望に応えられるような路線バスの増便は

問 緊急対策として、4月1日から廃止・減便になった路線バスの増便はできないか。

答 導入までに一定期間を要しますが、早期の移動手段の確保に向けて取り組みます。

プレミアム付タクシー券の今後の発行は

問 車で移動ができない市民のために、プレミアム付タクシー券の発行の検討は。

答 現時点で具体的な検討はしていないが、手法等について

て慎重に判断していきます。

個別施設計画は住民参加型で実施すべき

問 公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画は、住民が納得するまで何回も住民参加型で実施すべきでは。

答 市民対話の目的は、全ての希望を叶えることが大変困難な中、危機感を共有し、個々の施設をどうしていくのかという方向性を見出すことです。

子育て支援策として学校給食費の無償化を

問 子育て支援策、人口減少の歯止め策として、学校給食費の無償化を進めるべきでは。

答 学校給食費の無償化については、国において課題の整理を進めているため、今後も国の動向を注視していきます。



つつじの会
長谷川貴士

行かない！書かない！待たない！市役所の取組に向けて

問 お出かけ市役所（行政MaaS）の今後の取組は。

答 これまでのサービスに加え、今後ニーズが見込まれる

マイナポータルにおける健康保険証ひもづけ設定の操作支援を実施していく考えです。これにより、スムーズなマイナ保険証への移行をサポートします。また、利用者のニーズに個別に対応できるよう、事前予約により、個人宅まで訪問した上でサービスを提供する、いわゆる「デマンド型運行」の実施を検討しており、本年10月の運行を目指し、準備を進めています。



▲お出かけ市役所（行政MaaS）車両

問 いわき市公式LINEの機能拡充を図る取組であるLINE市役所には、どのような機能を導入するのか。

答 拡充を予定している主な機能は、3点あります。1点目は、行政手続等のオンライン申請機能です。住民票や戸籍、印鑑登録など、各種証明

書の交付申請のほか、子育て関連の手続や相談等の予約、粗大ごみの受付など、様々な手続が可能となります。2点目は、公共施設の予約機能です。現在の公共施設予約案内システムは、仮予約のみが可能となつていますが、これを、予約から利用料金の支払いまでオンラインで完結することができるようになるものです。3点目は、学校と保護者間の連絡機能です。保護者の利便性の向上と学校現場の業務の効率化を両面で実現するため、学校への欠席連絡や学校からのお知らせの配布をできるようにするものです。

本市の子供たちの健康は

問 いわきっ子生活習慣病予防健診事業の取組効果は。

答 検査の結果、基準値を超えた生徒のうち、希望者には翌年の中学3年生時に再検査を実施しています。令和2年度から4年度において、再検査の対象者1095名のうち815名が、翌年度に再検査を実施しました。その結果、約34%に当たる274名に改善が見られたところです。

「いわきっ子生活習慣病予防健診事業」

市内の中学2年生が行う貧血検査に併せ、脂質及び血糖検査を行った上、集団健康授業と指導の必要な生徒や保護者への個別健康相談等を一体的に実施するもの。



常磐地区の諸課題の解決に向けた取組は

問 令和5年台風第13号の影響により、調節池の上流側で浸水被害を受けた湯本川の今後の水害対策は。

答 河川管理者である県において、護岸等の復旧工事は全て契約済みで、順次着手しており、本年12月末の復旧完了を予定しています。さらに、浸水被害の軽減対策は、現在実施中の氾濫解析の結果を踏まえ、検討するとしています。
問 主要地方道いわき上三坂小野線の渋滞解消に向けた今後の取組は。
答 交通渋滞の改善に向け、右折レーンの設置等のハード対策や公共交通機関の利用促進等のソフト対策をはじめ、新たな取組が展開できるように

検討してまいります。さらには、県に対し、安全で円滑な交通が確保されるよう、改良計画の早期策定に向けた働きかけを、強く行ってまいります。

カーボンニュートラルの実現に向けた意識啓発の取組は

問 市民の意識醸成に向けた今後の取組は。

答 現在、本市では、市民等に対する様々な意識啓発や環境教育に取り組んでいます。今後も、市民団体やNPO法人等をはじめ、様々な主体との連携を一層強化しながら、意識啓発を行ってまいります。



▶ゼロカーボン教育モデル事業の昨年度モデル校いわき市立勿来第二中学校の生徒とパートナーシップ会議メンバーとの記念撮影の様子



令和5年台風第13号による新川・宮川流域における被害への対応は

問 被害状況と災害復旧工事の進捗状況は。

答 河川管理者である県によると、護岸崩落等の被災件数は、新川及び同流域で8か所、宮川及び同流域で5か所、計13か所であり、全て今年度末までに復旧完了する予定です。

問 内郷宮地区で実施した自動車避難訓練の課題と今後の取組は。

答 当該訓練により、夜間や降雨時に視認性の悪い箇所等が確認されたため、今後、地区内の市道への減速マークや反射板の設置等を検討します。

本市の防災対策としての非常用備蓄の取扱いは

問 各避難所へ土のう袋を配備すべきでは。

答 人員確保等の点から、避難所ではなく地域集会施設等への備蓄を、今後検討します。

問 主要な避難所へ段ボールベッドを常時備蓄すべきでは。

答 湿気対策等を講じた保管場所の確保等の課題もあるた

め、効率・効果的な整備の在り方を、今後検討します。

平下平窪配水管改良工事設計単価誤りによる工事契約の解除は

問 本件への本市の対応は。

答 関係者からの聞き取りや裏付文書の確認等の内部調査に加え、外部有識者が参画する調査確認委員会を設置し、調査確認に取り組みました。

問 今後の対応は。

答 同委員会から、誤って算出した最低制限価格と同額で落札されたことは不自然であり、捜査機関への相談を要するとの報告を受け、捜査機関に相談するとともに、同委員会の改善措置の検討結果を踏まえ、対策を講じてまいります。



不登校対策は

問 今年度新設されたチャレンジホームと総合図書館学習支援ルームの利用状況は。

答 各々、数名の利用があり、一人一人のニーズに応じた支援を進めています。今後も、不登校の児童生徒が安心して

過ごすし、学びを充実できるように、環境整備を行う考えです。

子どもの権利条例の制定は

問 同条例を制定すべきでは。

答 今年度、現行の第二次市子ども・子育て支援事業計画改定に合わせ、こども大綱を勘案したこども計画を策定します。同計画に位置付ける各施策の推進により、子供の権利擁護が図られると考えます。

ヘルプマークの理解促進に向けて

問 本市の取組は。

答 障がいのある方に向けた冊子等に、マークや趣旨を掲載する等しています。



生理の理解を広げるために

問 市役所における生理休暇の取得促進に向けた取組は。

答 制度の周知を図り、通称名の変更について、市職員労

働組合と協議を行っています。
問 安心して学べる環境整備のため、学校のトイレに生理用品を置く検討を進めては。

答 できることからスタートしていく考えです。

子宮頸がんワクチン キャッチアップ接種の促進を

問 対象世代に情報が伝わっていないことから、ポスター等の掲示や対象世代が実施する取組の活用を進めては。

答 ポスター等の掲示を含め、検討し、また学生等が自ら情報発信を行う活動を把握した際は、協力について検討していく考えです。

不登校児童生徒への 支援は

問 全ての学校に教室以外の居場所を作るべきでは。

答 余裕教室がなくとも工夫している学校もあることから、各種研修会等を通して共有し、居場所づくりに努めます。

問 メタバースによるオンライン居場所の設置の検討を。

答 文部科学省の実証事業や先進自治体の成果や動向を注視していく考えです。

問 民間団体（施設）との連

携をどのように進めるのか。
答 NPO法人や高等教育機関、医療機関と連携し、支援体制の充実に努めます。民間の取組との連携についても情報収集し、検討していきます。

問 保護者支援のための情報発信として、不登校支援サイトの開設を進めるべきでは。

答 新しい情報や分かりやすい情報の発信を心がけます。



特別養護老人ホームへの 入所待機者数を減らすには

問 市として、どのような取組を進めているか。

答 市では、高齢者が住み慣れた地域で最期まで暮らし続けられるよう、高齢者自身の希望に寄り添った多様な住まいと住まい方の充実を目指し、在宅と施設、負担と給付のバランス等に配慮し、必要な施設の整備を進めています。

本年3月に策定した第10次市高齢者保健福祉計画では、必要な施設として、地域密着型特別養護老人ホーム87床を整備するとしています。
今後、必要な施設の整備

と在宅サービスの充実を両輪として、入所待機者を減らす対策を進めていきます。

市道窪根・君田線の 道路改良事業は

問 今後の進め方は。

答 現在、用地補償調査を実施しており、今後は、地権者等の方々の協力を得ながら、道路拡幅に必要となる用地を取得することとしています。今後も、沿線住民の方々の生活環境の改善に向け、早期の事業効果の発現が図られるよう、事業の推進に努めます。



▲市道窪根・君田線の現在の様子

その他の質問

○市職員の人員確保と市民サービスの上は
○公共施設における喫煙所の設置は

共産党市議団
高橋 明子
いわき市国民健康保険
条例等の改正は

問 令和11年度の保険税率県統一による本市への影響は。

答 標準保険料率において、応益割のうち均等割額が、本市の現行税率より高額であるため、統一時に、所得の低い方が大幅な負担増とならないよう調整が必要です。

問 子供の均等割額を減免すべきでは。

答 全国市長会等を通じ、国に、重ねて要望していきます。

問 保険診療が10割自己負担となる資格証明書の発行をやめるべきでは。

答 国民健康保険の事業運営に、国保税の収納率の上は極めて重要であるため、これまでどおり交付する考えです。

気軽に水遊びのできる 公園は

問 子供たちが好きな水遊びのできる公園の設置状況は。

答 現状、子供たちの水遊びを主目的とした施設は、いわき市民プール1か所のみです。



全国市議会議長会表彰者

令和6年5月22日（水）、全国市議会議長会第100回定期総会において、市議会議員として市政の振興に努められた次の8名が表彰されました。

◆受賞者

- 在職15年以上 永山 宏恵 議員
- 在職15年以上 大友 康夫 議員
- 在職15年以上 福嶋あずさ 議員
- 在職15年以上 坂本 稔 議員
- 在職15年以上 赤津 一夫 議員
- 在職15年以上 上壁 充 議員
- 在職15年以上 大峯 英之 議員
- 在職10年以上 狩野 光昭 議員

議会報告会 意見交換会

政策総務

いわきFCの今後の在り方 ～いわきFCと共に歩むまちづくり～

常任委員会



日時：5月25日（土）午後2時～午後3時45分
 場所：いわき市役所議会議棟
 相手方：いわきFCサポーター 13名
 NPO法人いわきサッカー協会 2名
 (株)いわきスポーツクラブ 3名



市民生活

地域の魅力づくり

～他市から選ばれるまちにするために私たちにできること～

常任委員会



日時：5月18日（土）午前10時～正午
 場所：いわき市役所議会議棟
 相手方：東日本国際大学Global Network + 2名
 いわき転入女性の会 3名、個人 1名
 いわき地域おこし協力隊 3名



市民の皆さんと 議員の対話!

R6

議会報告会・意見交換会は、開かれた議会の実現に資するよう開催しています。

教育福祉

保育士になるための自分づくり

常任委員会



日時：5月14日（火）午前10時40分～正午
 場所：福島県立いわき総合高等学校
 相手方：福島県立いわき総合高等学校生 19名



産業建設

交通手段としての 自転車利用者を増やすには

常任委員会



日時：5月28日（火）午後2時～午後4時
 場所：福島工業高等専門学校
 相手方：(一社)日本パラサイクリング連盟 3名
 福島工業高等専門学校生 18名



◆参加された皆さんからいただいた御意見・御感想を、市議会公式ホームページに掲載しています。各常任委員会の欄内にあるQRコードより、御確認ください。

表紙写真

いわきの夏の夏の観光の目玉といえば、海。四倉の海でサーフィンを楽しむ親子です。

今回は、海のアクティビティの一つであるサーフィンに、スポーツを当ててみました。サーフィンをする人、これからサーフィンを始める人が、いわきの海を楽しむことに、大いに期待します。



6月定例会では、地球温暖化防止及び省エネルギー対策の一環として、議員、理事者ともにアロハシャツを着用して、本会議に臨みました。



▲本会議の様子

今年の6月定例会も、恒例のアロハ議会でした。地球温暖化防止・省エネルギー対策の一環として軽装に取り組んでいます。色とりどりのアロハシャツにより、議場は華やいだ眺めになりましたが、質問と答弁の様子は真剣そのもの。どうぞ市議会ホームページから、動画を御覧ください。年々暑さが増している夏。適切なエアコンの利用や喉が渇く前の水分補給、屋外活動の時間帯の工夫など、十分御注意の上、お元気で過ごしてください。(議会報編集委員)

次期定例会の日程は、いわき市議会事務局へお問い合わせください。

いわき市議会公式ホームページからも、いわき市議会だより「ほうれんそう」データ版をご覧ください。

詳細はこちら

